

□ 要請番号 (JL00622A06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・2022/4・2023/1・ 2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

観光・創造経済省

2) 配属機関名 (日本語)

マカッサル観光ポリテクニク

3) 任地 (南スラウェシ州マカッサル市) JICA事務所の所在地 (ジャカルタ首都特別州)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約3.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

インドネシアには、将来観光産業に従事する人材育成を担う観光省直轄の観光ポリテクニクが6校あり、配属先は観光開発の潜在的可能性が高い南スラウェシ州マカッサル市に設置された3年制と4年制の学校。ホスピタリティ、観光、旅行学科があり、その下にフードプロダクション、客室マネジメント、ホスピタリティマネジメント、旅行ビジネスなど8つのプログラムがある。総学生数約500名、教職員数約80名。年間予算約2億8千万円。過去に3名の日本語教育隊員と4名の料理隊員が派遣されている。敷地内には、実習専用建物(ホテル受付、客室、レストラン、バー等の設備有り)や大規模な調理室、講義室等があり、活動環境は整っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同配属先には約6年前まで日本語教育隊員が派遣されており、その後は現地教員によって授業運営が行われている。学生の必修外国語科目は英語、第二外国語は日本語とフランス語から選択する。日本語の授業は、一律に同じ内容を学習するのではなく、過去に派遣されていた隊員と同僚が共同作成した教材を用いながら、ガイド用、給仕用、ホテルレセプション用など、実践場面に応じた授業内容となっている。しかし、学生の学習意欲向上と同僚教師の日本語能力及び教授能力のブラッシュアップのためには、継続的な協力隊員の支援が必要とされ、要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 会話を中心とした日本語の授業を実施 (同僚とのチームティーチングが基本)
週当たりの担当コマ数は、赴任後に配属先と協議して決定する
2. 同僚や地域のインドネシア人日本語教員の日本語能力及び教授力向上のためのサポート
3. 教材作成に関する助言
4. 日本クラブや日本文化祭を通しての日本文化の紹介

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

主要テキストは過去の隊員が中心となり作成されたオリジナル教材、『Genki』、自前の日本語関連資料

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

- ・女性(50代、学士号保持者、JLPT(旧)3級、教授経験約25年)
- ・男性(30代、学士号保持者、JLPT N3、教授経験約17年)

活動対象者:

学生約320名 到達目標:日常会話の習得(N4相当)

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

インドネシア語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚とのバランス

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25～33℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの都合により、他国の同隊次より赴任時期が1～2か月程度遅れます。自衛隊勤務経験者及び海外における軍歴保持者には査証が発行されないため、本案件には応募いただくことができません。同配属先からは料理隊員の派遣も要請されています。